住宅改修が必要な理由書(記入例)

【総合的状況】

THE HANDON	
	立ち上がりは、家具やレンタル手すりにつかまり行っている。室内の歩行時はすり足歩行であり、左右へのふらつきがみられる。屋外の移動は杖をレンタルして 行っているが、段差昇降時などは不安定である。
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	サービスの利用は福祉用具のレンタルのみ利用しており、室内の移動用に手すりと屋外の移動用に杖を借りている。介護状況については家族がいる場合は排泄時と入浴時のみ見守るようにしている。
	本人の希望として、近頃、歩行時や立ち座りの際に転倒の不安感が強く、移動に大変恐怖心を抱いているため、今回の住宅改修により、その不安を少しでも取り除きたいという思いがある。また、本人は洗濯を家庭内での役割と考えているため、今後も継続して役割を果たすため、物干し場までの動線の整備をしたいと思っている。

【各改修箇所に関する選定理由】〈総合的状況を踏まえて具体的に記入してください。〉

①改修箇所 (生活動線)	②改修内容	③具体的な困難な状況 (・・・のため・・・する恐れがある等)	④改修目的 (どのように使用し、③の状況がどのように改善されるか)		
改修箇所	■手すりの取り付け		L型手すりを取り付けることにより、手すりの縦部分を持つことで、便座からの立		
トイレ	□段差解消		ち上がりの負担が軽減され、横部分を持つことでトイレ内での移動を転倒の なく安全に行える。		
動線または目的	□床材の変更				
排泄	 □扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	■手すりの取り付け	浴槽をまたぐ際に、壁に手をついてまたいでいるが、手が滑って転倒の恐れが	手をついている箇所に縦手すりを取り付けることで、しっかりと体を支えることが		
浴室	□段差解消	ある。	でき、転倒のリスクを軽減することができる。		
動線または目的	□床材の変更				
入浴	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	■手すりの取り付け	浴槽から立ち上がる際に浴槽のふちを支えにしているが、手が滑り転倒しそうに			
浴室	□段差解消	なる。	け、しっかりと握る箇所ができることにより、安全に浴槽内での立ち上がりを行え		
動線または目的	□床材の変更		ବ ୍ଷ		
入浴	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	□手すりの取り付け		敷居を撤去し、段差をなくすことにより、つまずきなどによる転倒の危険がなくな		
居室	■段差解消	から躓いており転倒の危険がある。	న ం		
動線または目的	□床材の変更				
居室から玄関など	□扉の取替え				
	□便器の取替え				

□便器の取替え					
		Ж. і	異定理由を記載する簡	<u>所が足りない場合は住宅改修が必</u>	要な理由書(別紙)を添付してください。
【事前申請を行えなかった理由(事前申請の場合は記入不	(要)】				
■新規申請中であったが、早急に住環境を整える必要があ	ると判断し、事前申請を行えなか	いった。			
早急に住宅改修が必要と判断した理由【転倒の危険性	が非常に高い。】 申請日【201	8年7月8日】 認定日	【2018年8月15日】		
□急遽退院が決まったが、早急に住環境を整える必要があ	あると判断し、事前申請を行えなか	いった。			
早急に住宅改修が必要と判断した理由【	】 担当者会議	【 年月日】	退院日【 年	三月日】	
□訪問した際、急激にADLが悪化しており、早急に住環境を	を整える必要があると判断し、事育	前申請を行えなかった。			
早急に住宅改修が必要と判断した理由【	】 訪問日【	年 月 日】			
□家族施工であるため。					
口その他(上記のケース以外で事前申請を行わずに居宅が	ト護(予防)住宅改修費の支給を	受けることは原則として出	来ません。介護保険課	までご相談ください。)	
相談日【年月日】担当職員【	1				
償還理由:					

住宅改修が必要な理由書(記入例2)

【各改修箇所に関する選定理由】〈総合的状況を踏まえて具体的に記入して〈ださい。〉

① 改修箇所 (生活動線)	箇所に対して、1改修内容の選定理由を記載してください。 ③具体的な困難な状況 ②改修内容 (・・・のため・・・する恐れがある等)		④改修目的 (どのように使用し、③の状況がどのように改善されるか)		
改修箇所	口手すりの取り付け	二階に寝室があり階段を昇降する必要があるが、階段の踏み面が狭く、足を踏	階段に滑り止めを設置することにより、すべりや踏み外しによる転倒・転落の恐		
階段	□段差解消	み外して階段から転落の恐れがある。	れがなくなり、安全に階段昇降ができる。		
動線または目的	 ■床材の変更				
一階から寝室	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	口手すりの取り付け		開き戸を引き戸にすることにより体勢が安定し、扉の開閉時にバランスを崩して		
勝手口	口段差解消	する危険がある。	転倒する恐れがなくなる。		
動線または目的	□床材の変更				
洗濯	■扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	口手すりの取り付け		洋式便器にすることにより、容易に立ち座りができるようになり、安心して排泄す		
トイレ	□段差解消	れず、へたり込んでしまうことがあり、家族が助け起こすことがたびたびあった。	ることができ、家族の介助負担も軽減する。		
動線または目的	□床材の変更				
排泄	口扉の取替え				
	■便器の取替え				
改修箇所	■手すりの取り付け	玄関ポーチに15センチの段差があり昇降が不安定である。	縦手すりを取り付けることで、つまづきや足の踏み外しなどの転倒のリスクが軽		
玄関ポーチ	□段差解消		減され、安定した体勢で玄関ポーチを昇降できる。		
動線または目的	□床材の変更				
玄関から道路	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	□手すりの取り付け				
	□段差解消				
動線または目的	口床材の変更				
	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	□手すりの取り付け				
	□段差解消				
動線または目的	□床材の変更				
	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	□手すりの取り付け				
	□段差解消				
動線または目的	□床材の変更				
	□扉の取替え				
	□便器の取替え				
改修箇所	口手すりの取り付け				
	□段差解消				
動線または目的	□床材の変更				
	□扉の取替え				
	□便器の取替え				